



かたつむり通信

2023年1月51号

モーモーランド ウッディタウン園の先生方、素敵なかたつむり通信ありがとうございました。今月はかたつむりランド夙川園が担当させていただきます♪

オープンから2年目を迎えた夙川園では、現在にじ組2名、そら組4名、ほし組5名と一時保育の園児4名の計15名が在籍しています！



お正月

皆さんはお正月と聞いて何を思い浮かべますか？

おせち、お年玉、凧揚げなど挙げればたくさん出てきますね♪

今回は、お正月にちなんだ豆知識をいくつか紹介します♡



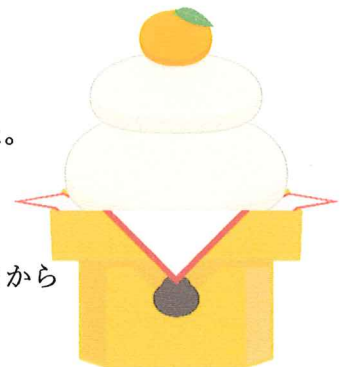
・お正月の期間

「正月」というのは昔の暦では1月のことを指しました。つまり、1月=お正月ということになりますが、現在ではお正月を三が日、松の内などの同類後として使っています。1月20日までをお正月としているところもあるようですが、一般的には短縮された松の内である1月7日までの期間=お正月という認識が多いそうです。

・鏡開き

諸説ありますが、鏡開きは元々武家時代から始まった行事で正月に鏡餅を供え、11日には供えた鏡餅を食べる習慣がありました。武家社会では、「切る」という言葉が切腹を連想させるため刃物を使わずに割っていたと言われていました。

しかし、おめでたい日に「割る」という表現も縁起が悪いということから「運を開く」にかけて「鏡開き」と呼ばれるようになったそうです。



・ポチ袋

元々ポチ袋の「ポチ」は、関西の方言で芸妓や茶屋女などに与える祝儀のことでした。祝儀を「ポチ」と呼び始めた由来は諸説ありますが非常に少ないことを「これっぽっち」というように、「ポチ」には「小さな点」や「ほんの僅か」という意味が込められていると言われています。



・七草粥

七草粥とは春の七草が入ったお粥のことです。1月7日の「人日の節句」に食べます。「人日の節句」は1年に5回ある中国の節句のひとつで、無病息災や健康長寿を願って七草粥を食べます。また、正月のおせち料理などをたくさん食べて疲れた胃腸を休ませる意味もあります。

春の七草

春の七草とは「セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ」の7種類のことです。名前は聞いたことがあるという方は多いと思いますが、どんな意味があるかまでは詳しく知らない方も多いと思います。ここからはそれらの意味について紹介していきます！

- ・セリ…競り合うように生えることから、その名が付いたとされています。

込められた意味は「競争に競り（セリ）勝つ」。

- ・ナズナ…ペンペン草とも呼ばれるアブラナ科の植物です。

込められた意味は「撫でて汚れを除去する」。

- ・ゴギョウ…母子草（ははこぐさ）とも呼ばれます。

込められた意味は「仏の体」。

- ・ハコベラ…ハコベとも呼ばれ、古くは腹痛薬や

歯磨き粉にも用いられていました。

込められた意味は「繁栄がはびこる」。

- ・ホトケノザ…別名コオニタビラコというキク科の植物です。

「葉の形が、仏様が座っている蓮の台座のように見える」

ためホトケノザと呼ばれ、込められた意味は「仏の安座」。

- ・スズナ…カブの別名がスズナです。込められた意味は「神を呼ぶ鈴」。

- ・スズシロ…大根の別名がスズシロです。込められた意味は「汚れのない清白」。

